

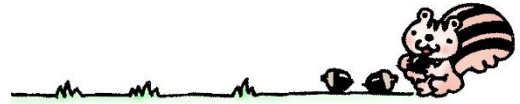


**“ののかぜひろば”をみんなで楽しく盛り上げていきましょう！**

9月に入っても暑い日が続きましたが、日を追うごとに風が秋らしくさわやかな風が吹いてくるようになりましたね。“ののかぜひろば”ニュースでもお知らせしていますが、コロナ感染を防ぐ形で乳児・幼児入れ替えで蜜を避けて今年度は開催をしていく事にしました。

4月にはまだ、仰向けだったり、ハイハイで遊んでいたつくし組の子どもたちも、つかまり立ちやアンヨ、探索活動が楽しくなっています。あかちゃん時代を卒業し、自己主張まっさかりのたんぽぽさんは友だちと一緒にからだを動かすことがとても楽しくなっています。夏のプールでの活動をたっぷり経験したくましくなった子どもたちの姿を保護者の皆さんに見ていただき、そして子どもたちの成長を喜び合いたいと思います。

尚、今年度は2部の大人の競技はコロナ感染防止のため取り止めとします。早くみんなで交流が持てるようになることを願っています。



**安心・安全な保育環境を作って行きましょう！**

～署名を通して私たちの声を国や自治体へ届けよう～

9月30日をもって愛知県は緊急事態宣言は解除されましたが、デルタ株のまん延で子どもの中でもコロナ感染が広がる新たな局面にきています。

保育所は、「密」を避けられない環境です。感染対策と子どもの発達の保障を両立させるために、各園は懸命な努力をしています。しかし、感染対策に関して現場だけでは限界があります。

国には感染の連鎖を断つための検査の徹底と拡充を求めて行きたいです。ひとつは、保育所で陽性者が出たら濃厚接触者となった子ども、職員を対象としたPCR検査を迅速にできる保健所の機能の拡充をすること。二つ目はPCR検査を定期的に施設の費用負担なくできるようにすることを求めます。

また、保育所での感染を抑える上で、子どもの体調が悪かったり登園自粛が求められたときに、保護者が安心して休むことが出来る保障を図ることは欠かせません。働く人たちが安心して休むことが出来る制度の拡充を国の責任で行うことを求めます。

今回コロナで保育所の配置基準が十分でないことが改めて明らかになりました。国の配置基準は、0歳児は子ども3人に対して保育士は1人、1・2歳児は6人に一人、3歳児は20人に1人、4・5歳児は30人に1人で、面積基準も0,1歳児は1.65㎡、2歳児以上は1.98㎡と諸外国と比べて実に貧困な基準となっています。

ちなみにフランスでは職員配置基準は3歳児以上15人に1人で、面積基準は5.5㎡です。

こうした保育の貧困を改善し、コロナ禍の中、子どもたち、保護者、保育者たちが安心できる環境の中で生活できる場を保障していく事が国の責任です

保育を良くする署名活動が始まりました。署名を少しでも多く集めることは、こうした願いを国や自治体に訴え、実現させていくものです。

全ての保育所で、子どもたちの生きる権利、守られる権利、遊ぶ権利が保障され、父母が安心して預けることが出来るよう、みんなで力を合わせて行きましょう！

署名の取り組みをしていく上では、仕事は忙しいし、しんどくなりがちですが、一人一人が自分のできるところから一步一步、次の世代を生きる子どもたちのためにお力を貸して下さい。